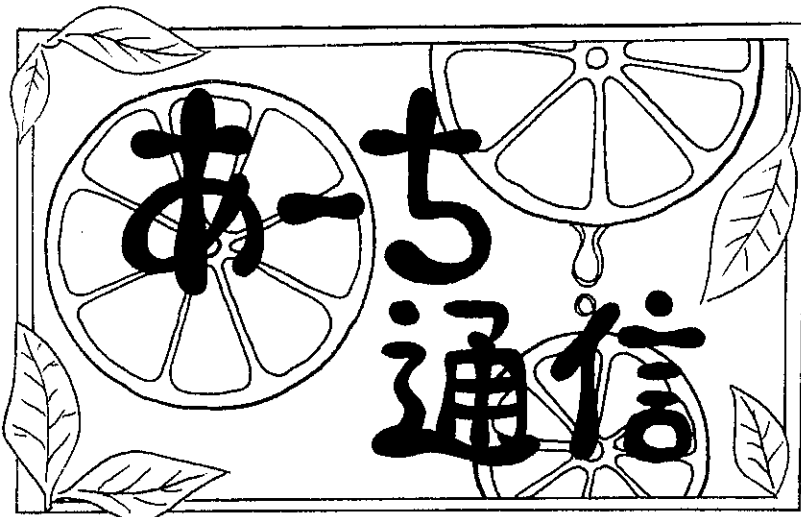




神戸大学大学院サテライト施設
「のびやかスペース あーち」
〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 3-6-18
TEL&FAX 078-805-6090 〔開館：火～土曜日〕
Email arch@h.kobe-u.ac.jp
http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html

神戸大学大学院人間発達環境学研究所
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970 FAX 078-803-7971

「子育て一歩二歩」のまりまりさんによる体験レポート「～てみた。」シリーズ第一弾！

「参加してみた。」その1

8月下旬に“あーち”で行われた“一人のできる 人形劇ワークショップ”に参加してきました。

当日参加するまでは、人形劇に興味のある“大人対象”のプログラムと思いきや、ユニークな自己紹介に参加者全員が心ほぐされ、和やかな雰囲気の中に始まりました。

講師の先生が教えてくださったことは「まずは、楽しむ」ということ。先生が演じるエプロンシアターやパネルシアターの主人公たちは、私たち聞き手をお話の世界にぐいぐい引き込んでいきます。

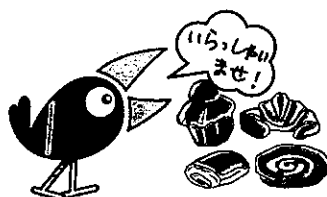
ふと、自分の席の右隣を見れば教養豊かそうな人。左隣は穏やかで優しい人。前の席はおもしろそうな人。ここに来なければ顔を合わすことはなかったであろう、参加者。ワークが進むにつれ、わきあいあいとお互いの話に耳を傾けているのだから不思議です。最後はみんなで折り紙を使った指人形づくり。大人や子どもも参加でき、私たちの「楽しい！」を刺激してくれたプログラムでした。

様々なプログラムが企画されている“あーち”。いつもと違うプログラムに足を運んでみると、いつもとちがう人との出会いに恵まれるかもしれません。

(まりまり)

「からすのパンやさん」

絵・文：かこ さとし
出版社：偕成社
発行日：1973年9月



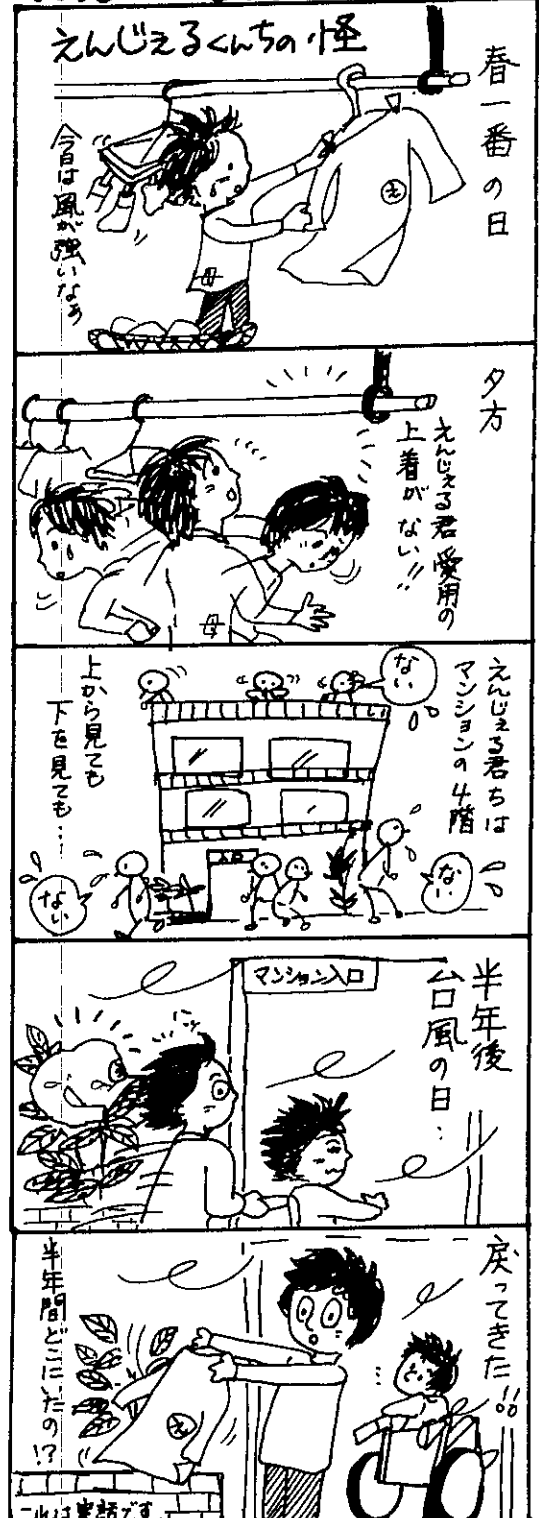
いずみがもりはからすの町。そこにあるからすのパン屋さんのお話です。

4羽の子どもたちの子育てがきっかけで全然売れなくなってしまったパン屋さん。あることをきっかけにたくさんのからすたち、そしてなぜか消防車や救急車、カメラマンもお店にやってきて大騒ぎに…。

「たのしい おいしい パン」のページにはたくさんのパンが描かれていて、食べたくなること間違いなし！40年ぶりに続きのお話が発売されたばかりなので、ぜひ読んでみてください。

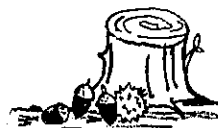
(神戸大学 発達科学部 人間形成学科3年 名坂友里)

えんじえる君 by Bon





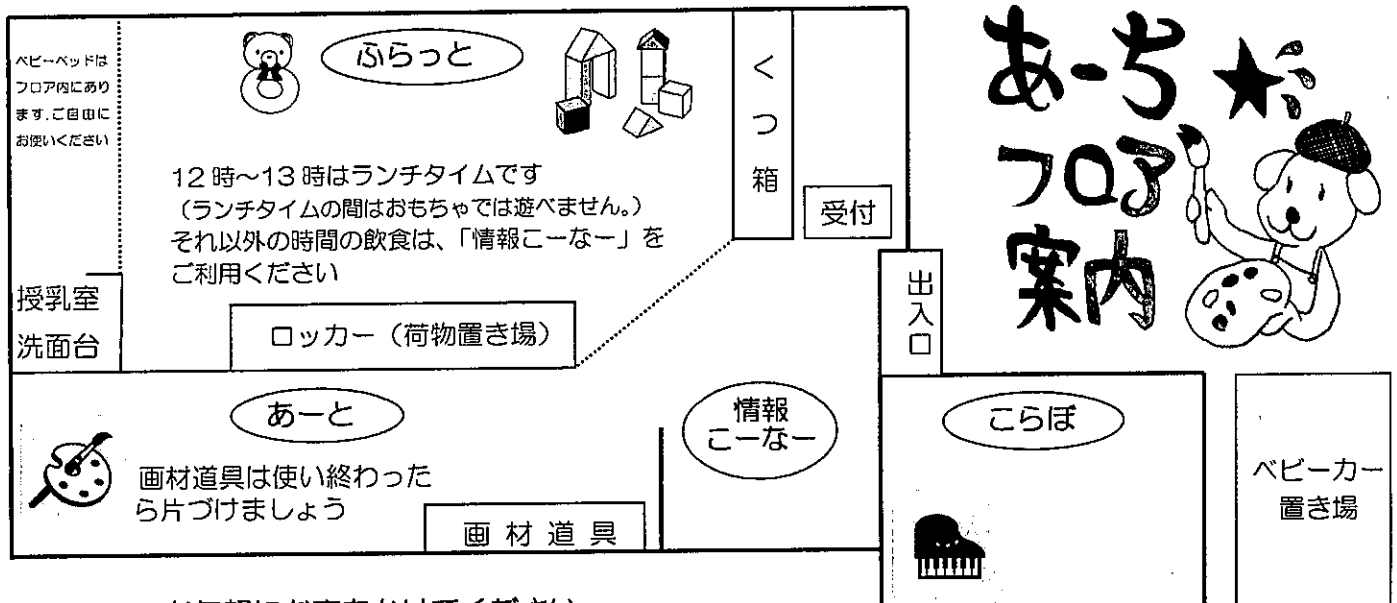
10月予定表



		こらぼあーち	あーとあーち	ふらっとあーち
1	火	博物館(展示)	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち(午前中)
2	水	博物館(展示)		
3	木	博物館(展示・撤収)		
4	金	居場所づくり 3時～6時		
5	土	おはなしの国 1時30分～2時		
6	日	休 館		
7	月			
8	火	ピーナッツ(申込制) 10時30分～12時		おひさまひろばあーち(午前中)
9	水	ほのぼの音ランド 11時20分～		
10	木	みんなで歌おう 午前中	筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ(はいはい期) 11時～
11	金	居場所づくり 3時～6時		
12	土	0歳児のパパママセミナー(*通年プログラム)/中・高校生の赤ちゃんふれあい		
13	日	休 館		
14	月			
15	火		あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち(午前中)
16	水			
17	木		あーち通信編集会議 11時30分～ めだか親子クラブ 2時30分～	ベビーマッサージ(ねんね期) 11時～
18	金	居場所づくり 3時～6時	アートセラピー 3時30分～5時	
19	土	ぽっとらっく(予約制) 午後		紙芝居 11時～
20	日	休 館		
21	月			
22	火	ピーナッツ(申込制) 10時30分～12時		おひさまひろばあーち(午前中)
23	水			おしゃべりほっとタイム 11時～
24	木	みんなで歌おう 午前中	筆をもとう 1時～2時30分	
25	金	居場所づくり 3時～6時/らくがきおばさんがやってきた 3時30分～		
26	土	おはなしの国 1時30分～2時 音楽の広場 2時30分～		
27	日	休 館		
28	月			
29	火			おひさまひろばあーち(午前中)
30	水			
31	木	あーち♥ビギナーズ交流会(予約制) (6か月未満のお子さん) 1時30分～3時		

- ・太字のプログラムは今月の特別プログラムです。
- ・予約制以外の、どのプログラムも参加(見学)することができます。
- ・プログラム参加の年齢制限はありませんが、内容などの詳細は受付までお問合せください。
- ・「ベビーマッサージ」にご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。
- ・「アートセラピー」「らくがきおばさんがやってきた」は汚れてもいい服装でご参加ください。
- ・「0歳児のパパママ交流会」の本年度参加受付は終了いたしました。(見学可)





～お気軽にお声をかけてください～

<ふらっと相談員>

火曜 午前 保育士
午後 灘区地域活動支援コーディネーター (13:00～15:00)
水曜 午前 NPO 法人マザーズサポーター協会 (第4水)
木曜 午前 灘区地域活動支援コーディネーター
助産師 (月2回)
金曜 全日 発達相談員 (11:00～16:00)
土曜 全日 元母子相談員
午前 助産師 (第2土)
不定期 歯科医師 臨床発達心理士
※詳細は受付へお問い合わせください。

あーちのルール

- ☆オムツやゴミは必ず持ち帰りましょう
- ☆託児の機能はありません
- ☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です

『つなひき』

ジョン・バーニングム 作
谷川 俊太郎 訳
Bレ出版 2013年3月出版



のうさぎをかばとぞうが退屈すると

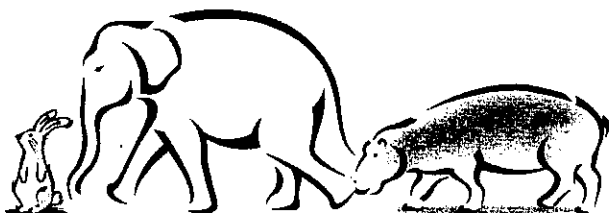
いじめるくからかう。 うんざりして
考えた のうさぎ。

「もし ぼくと つなひきするとなったら
ぼくのかちおま。」

さて この つなひきの結果は――

これまでの作者のほんわりの色・絵の雰囲気と
ちがっているのに驚き、最近はお利聞く事の
少なくなった言葉で 訳されていることで、より一層
のうさぎ・かば・ぞうの気持ちや伝わりと
見えました。

漢家



カバー裏より
アフリカにまつわる民話をもとに
描かれた ジョン・バーニングムの絵本

ごろんごろんで見上げれば

第四話 ローリング おいちゃん

ゆきはな

八月末の冷たい小雨の降る中、実家へ続く小径を上がって行く途中で私たちを待っていたのは八十八歳になる私の大叔母、通称「おいちゃん」でした。

「珍しい人が帰ってきたんだね・・・」そう言って自分の家へ消えて行くおいちゃん。この方がなかなかの変わり種です。

おいちゃんは私の祖母の妹で、もともとは遠くの町で一人暮らしをしていたのですが、何かあった時に頼れる人が近くにいなかったこともあり十年前に私の実家の斜め下にある家へ引っ越してきました。これまで失明しかけたことと足を骨折したことが一度ずつありますが執念で治し、今も一人暮らしを続けています。足腰は弱ってきているので、歩いていて溝に落ちたり、洗濯物を干していて小さな崖から落ちたりすることはよくあるようです。私の妹は、裏山にあるお墓の掃除に行ったおいちゃんが山裾をころころ転がり落ち、下の溝にすぽんとはまって着地しているところに遭遇したことがあるそうですが、いずれにしても擦り傷程度で済んでいるのがおいちゃんのすごいところです。頭の中はというと、ちょっとばかり突飛なことを考えているようです。一年ほど前に私は姉からおいちゃんが就職活動をしようとしていた話を聞きました。姉のところに求人広告を持ってきて「私、就職しようと思うんだ。採用されると思う」と意気込みを語ったそうです。好んで読む広告は「集団お見合い」。まだまだやる気に満ちあふれています。近い将来、私の母の世話にならなければならないことは承知の上で、できるだけ長い間気ままな一人暮らしをしたいという気持ちがおいちゃんをしっかり支えているように思います。それともうひとつ、おいちゃんを支えているもの。それは若い男の人の存在です。おいちゃんはだれがどう見ても、男好き。同年代の人に話しかけられても聞こえていないのか、聞こえないふりをしているのか・・・ぼんやりした態度で突っ立っているだけなのに、若い男性に話しかけられれば、世界は花咲く楽園に早変わりです。パッと頬がピンク色に染まり、声が大きくなり、さっきまで遠かった耳がよく聞こえるようになるのです。この場面を何度も目撃しているので、私たち三姉妹の夫たちはみな、おいちゃんの一人暮らしの継続に貢献していることは間違いないとわたしは思っています。同じ若いでも子どもはどうなのかと観察してみると、おいちゃんのことを叩いたりつねったりしない年齢の子どもまでなら好きなようで、帰省中は娘ともよく遊んでくれました。しわ一つない赤ちゃんと八十八年の年月が刻み込まれたおいちゃん。ふたりが並んで雄叫びをあげたり、居眠りをしている姿を見ていると、命って一緒なんだなあと思えてきました。当たり前のことなのですが、産まれたばかりでも、どこでどんな風に年を重ねていても、生きようとしている命は優劣とか見た目とかとは関係ない世界にあるんだなあ、生命力溢れるふたりをみていてふと感じたのです。

今日もおいちゃんは山奥の一軒家で、いつものペースで強かに暮らしていると思います。娘は生えてきた自慢の歯で手に入る物全てに噛み付かんと、部屋中を這いずり回って暮らしています。そしてなんとかこの原稿を書き終えてほっとしている私。みんなばらばらに生きながらどこかでしっかりと繋がっています。

